

令和5年度事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

一般社団法人 日本銅センター

目次

1. 活動履歴	
(1) 総会・理事会・監事会・届出・委員会関連	P. 2
(2) 国際銅協会(ICA)関連	P. 4
2. ICAとの共同プロジェクト事業	
(1) 再生可能エネルギー関連	P. 4
(2) 電力ケーブル関連	P. 5
(3) 冷凍空調関連	P. 5
(4) 循環経済関連	P. 6
(5) 抗菌性能 PR 関係	P. 7
3. その他のプロジェクト事業	
(1) 超抗菌銅プロジェクト	P. 10
(2) 日本鋳業振興会研究助成事業	P. 10
(3) 日本伸銅協会との連携事業	P. 11
4. 銅管・板条技術関係特別事業	
(1) 銅管及び継手開発事業	P. 11
(2) 板・条技術関係特別事業	P. 12
5. PR 関係事業(広報)	
(1) 情報発信事業	P. 12
(2) 銅管特別広報事業	P. 18
6. 規格認証業務	
(1) 管継手	P. 19
(2) 銅管	P. 19
7. 日本銅センター賞表彰事業	P. 20
<参考資料1> 作成資料一覧	P. 21

1. 活動履歴

(1) 総会・理事会・監事会・届出・委員会関連

1) 監事会(令和5年4月26日)

東京・上野うさぎやビル・日本銅センター会議室において開催。山田高寛監事が令和4年度の会計監査を行い、適正且つ正確であることが確認され承認された。

2) 令和5年度第1回理事会(令和5年5月22日：書面)

次の議案について書面審議された結果、原案通り決議された

- 議案 (1)日本銅センター令和4年度事業報告(案)の承認
(2)日本銅センター令和4年度決算書類(案)の承認

3) 令和5年度定時総会(令和5年6月7日)

「ホテル椿山荘東京」瑠璃の間において開催。納武士日本銅センター会長の司会により次の議案について審議された結果、原案通り決議された。

- 議案 1. 令和4年度事業報告(案)の承認
2. 令和4年度収支決算書類(案)の承認
3. 令和5年度役員(案)の承認

4) 令和5年度第2回理事会(令和5年6月7日)

「ホテル椿山荘東京」瑠璃の間において開催。納武士日本銅センター会長の司会により次の議案について審議された結果、原案通り決議された。

- 議案 1. 令和5年度会長・副会長・専務理事(案)の承認
2. 令和5年度臨時総会議案(案)の承認

議案1において会長1名、副会長2名及び専務理事が次の通り選出された。

会 長 野崎 明(日本鋳業協会会長・住友金属鋳山(株)代表取締役社長)
副 会 長 宮崎 庄司(一般社団法人日本伸銅協会会長・(株)神戸製鋼所
執行役員 素形材事業部門長)

副 会 長 伊藤 雅彦(一般社団法人日本電線工業会会長・(株)フジクラ取締役
会長)

専務理事 桑山 広司(一般社団法人日本伸銅協会 専務理事)

5) 令和5年度第1回臨時総会(令和5年8月10日：書面)

次の議案について書面審議された結果、原案通り決議された。

議案 柏原理事が辞任し、村田理事が就任

6) 令和5年度第2回臨時総会(令和5年11月29日：書面)

次の議案について書面審議された結果、原案通り決議された。

議案 長谷川 憲一 理事が辞任し、加藤 俊史 理事が就任

7) 業務委員会(令和6年3月12日)

東京・上野うさぎやビル・日本銅センター会議室において開催。高元 健二郎委員長の司会により、次の議案について審議を行った。

- 議案 1. 令和6年度日本銅センター事業計画(案)
2. 令和6年度日本銅センター収支予算(案)
3. 日本銅センター設立60周年記念行事概要(案)

8) 令和5年度3月度理事会(令和6年3月26日)

東京・上野うさぎやビル・日本銅センター会議室において開催。野崎明会長の司会により次の議案について審議された結果、原案通り決議された。

- 議案 1. 令和6年度事業計画(案)
2. 令和6年度収支予算(案)
3. 日本銅センター設立60周年記念行事概要(案)
4. 令和6年度定時総会議案(案)

9) 令和5年度臨時総会(令和6年3月26日)

東京・上野うさぎやビル・日本銅センター会議室において開催。野崎明会長の司会により次の議案について審議された結果、原案通り承認された。

- 議案 1. 令和5年度事業計画(案)
2. 令和5年度収支予算(案)
3. 日本銅センター設立60周年記念行事概要(案)

10) 官庁への報告届出等

- ① 役員変更登記東京法務局手続完了(令和5年8月)
② 理事変更登記東京法務局手続完了(令和5年9月)
③ 理事変更登記東京法務局手続完了(令和5年12月)

(2) 国際銅協会(ICA) 関連

令和5年4月12日～13日来日

1. Richard Xu / President-ICA Asia.
2. Mayur Karmarkar / Marketing Director-ICA India.
3. James Li / Marketing Director-Energy & Electricity-ICA China.
4. Alvin Chao / Manager-Material Stewardship-East and Southeast Asia.

国内 ICA メンバー企業とのアップデート

令和5年9月13日～15日来日

1. Richard Xu / President-ICA Asia.
2. Alvin Chao / Manager-Material Stewardship-East and Southeast Asia.

国内 ICA メンバー企業 Material Stewardship 共有

2. ICA との共同プロジェクト事業

(1) 再生可能エネルギー関連

概況：四方を海に囲まれている日本において非常に大きなポテンシャルがあるにも関わらず、再生可能エネルギーの中で日本が大きく立ち遅れている洋上風力発電の普及促進を支援し、発電機および地中・海底ケーブルでの新たな銅の需要拡大を図る。政府が公表した「グリーン成長戦略」において 2040 年までの洋上風力発電の導入目標を 30～45GW と明示しているが、23 年度末国内洋上風力発電の導入量は約 310MW に留まっており、時流に沿った活動を進める。

- ① 日本風力発電協会(JWPA)の政策部会及び規制緩和ワーキンググループの Web 会議に毎月参加し、政策動向等の情報収集を行った。
- ② 一般海域における洋上風力発電の第2回公募が行われ、4海域の事業者が決定した。

・秋田県男鹿市・潟上市、秋田市沖	315MW
・新潟県村上市、胎内市沖	684MW
・長崎県西海市、江島沖	420MW
・秋田県八峰超、能代市沖	360MW

- ③ 「石狩湾新港洋上風力発電所」の商業運転が開始された。

日本初の「ジャケット式」基礎を施工し、8MW の大型風車 14 基で最大出力 112MW の国内最大の洋上風力発電所。

- ④ 政府は洋上風力発電所の設置対処を領海だけではなく排他的経済水域EEZにも拡大する再エネ海域利用法の改正案を閣議決定した。

(2) 電力ケーブル関連

概況：世界中で最大の銅代替リスクに直面している電力ケーブル市場におけるアルミ代替防衛を主目的とすると共に、銅需要の拡大が期待できる最適導体サイズ設計(ECSO)や電線地中化等の銅ケーブルに関するすべての活動を本プロジェクトの下で実施する。

① 「JECA FAIR 2023 第71回電設工業展」でのプレゼンテーション

電気設備の機器・資材や施工技術等に関する国内最大の総合展示会である「JECA FAIR 第71回電設工業展」(5/24-26 インテックス大阪)において電気設備学会関西支部より「脱炭素に向けた太陽光発電設備の最適導体サイズ設計(ECSO設計)」というタイトルでプレゼンテーションを実施した。

② 電気設備学会全国大会における論文発表

滋賀県の大型物流センターの自家消費型太陽光発電システムにおけるECSO導入による省エネ検証データに関し、電気設備学会全国大会(8/30 工学院大学)において関西大学米津准教授が「オンサイト PPA モデル事業におけるECSO導入に関する報告」という題目で論文発表を行った。

実証結果は月刊「電機と工事」2024年1月号にも掲載された。

(3) 冷凍空調関連

概況：近年エアコンを始めとするHVAC市場では、コストダウン及び冷媒量削減の観点から、銅管からアルミ丸管やアルミマイクロチャンネルへの素材代替が世界中で進行しており、国内でも大手エアコンメーカーがアルミへの転換を公表している。これら競合品に対しては従来(7mmφ等)の内面溝付銅管では代替防衛は困難であり、外径<4mmφの極細径内面溝付銅管の熱伝達性能の優位性及びコスト競争力のアピールが不可欠となる。

また、カーボンニュートラルの実現に向けて化石燃料から電化への転換が急務となる中で、CO₂削減への貢献度の大きいヒートポンプ式給湯器(HPWH)は銅管の大きな需要先でもあり、ヒートポンプ・蓄熱センター(HPTCJ)と協働して家庭、業務、産業各分野への普及促進を図る。

① 極細径内面溝付銅管の特性データ及び海外での最新開発状況の紹介

国内主要エアコンメーカーの開発担当者に、佐賀大学及び東京海洋大学での極細径内面溝付銅管の次世代冷媒を使用した場合の特性データを紹介した。

また、メリーランド大学 Aute 教授の銅センター来訪時には、米国における最新の熱交換技術開発の状況を紹介した。



② HVAC&R Japan 2024 に出展

東京ビッグサイトで開催された HVAC&R Japan 2024 (1/30~2/2) の銅センターブースで、極細径内面溝付銅管、フィンチューブ、継手、冷媒用被覆銅管を展示し、HVAC 用途における銅の優位性を PR した。



③ エコキュートへの補助金増額

令和 4 年度補正予算では 5 万円/台の補助金であったが、ヒートポンプ・蓄熱センターによる提言が功を奏し、令和 5 年度補正「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」においてヒートポンプ給湯器（エコキュート）に対する補助金額が 8 万円/台に増額された。

(4) 循環経済関連

概況：欧州から広がったサーキュラーエコノミーは、欧米のみならず国内でも本流となりつつある。エビデンスを基に他素材に比べて優位性のある銅のリサイクル性を外部に向けて発信する事により、循環経済における銅のプレゼンスを高める事を目的として活動を展開する。

① 国内銅マテリアルフロー図の作成及び広報

経産省や財務省貿易統計データ等から数字を抽出して、最新の国内銅マテリアルフロー図を作成し各種展示会でパネル展示した。また、高機能金属展のセミナーにおいて銅のリサイクルの現況について講演を行った。



② マテリアルフローにおける不明分の解析

上記マテリアルフローを作成した際に、行先が不明な銅量が 195,000 トン浮かび上がり、貴重な銅資源を有効利用するためには不明理由を解析する必要が生じた。展示会で銅のマテリアルフローに興味を示した他業界の方々（神戸製鋼所、日本製鉄、普通鋼電炉工業会、本田技研、矢崎部品）との情報交換を通じて、不明分の内訳がかなり明確になってきている。

③ 国内伸銅産業のマテリアルフローに関する調査委託

日本伸銅協会との間に上記調査に関する委託契約を結び、伸銅産業におけるリサイクル原料の活用状況について情報収集を行った。

(5) 抗菌性能 PR 関連

概況：本年度正式なプロジェクトとして復活、国内の超抗菌銅プロジェクトとコラボして一般への認知度向上を目的とした活動を展開する。

- ① 第1回 銅のすごい力を調べてみよう！～夏休み自由研究コンテスト～開催
国際銅協会と日本銅センター共催で、銅の超抗菌・抗ウイルス性能を一般の人により知っていただく機会を作りながら、若い世代の化学・銅への関心を高め、教育支援を実施することを目的に、小・中学生を対象に銅の抗菌性能についての自由研究を募集してコンペを実施した。

表彰の分類は中学生個人・団体、小学生個人・団体、審査員特別賞。

- ・募集期間 7月10日～10月13日
- ・審査員
 - 日本銅センター会長・住友金属鉱山(株)代表取締役社長 野崎明 様
 - JX金属(株)ESG推進部副部長 野田麻由 様
 - 三菱マテリアル(株)高機能製品カンパニー 銅加工事業本部事業本部長室 事業推進グループ長 安藤正樹 様
 - 群馬大学大学院理工学府教授 板橋英之 様

- ・受賞者

- 【最優秀賞】

- 中学生の部:竹下雄惺「銅の抗菌作用の探究」

- 小学生の部:チュアング周朔「銅ってすごい！～銅の超抗菌効果の観察～」

- 【優秀賞】

- 中学生の部:丸森楓「どうにかしたい！！剣士の悩み『小手が臭い！！』」

- 中学生の部:井之上理紗「銅があると食パンにカビが生えない??」

- 小学生の部:道幸玲雄「仏像には抗菌作用があるのか？」

- 小学生の部:野崎莉子「知ってびっくり！銅の力『こうきん作用のひみつ』」

- 【審査員特別賞】

- 日本銅センター会長賞:村上晴香「銅は納豆菌に影響するかどうか？」

- JX金属選出賞:藤瀬舞「銅の抗菌の仕組みと硬貨の清潔さについて」

- 三菱マテリアル選出賞:田中愛夕「抗菌効果調査」

- 群馬大学選出賞:破田野智皇「6種の菌と7枚の硬貨」

- 【団体賞】

- 中学生の部:広島市立安佐中学校 東美桜莉、栗栖穂乃香、齋藤健太

- 「学校プールの持続可能な浄水方法の提案—銅イオンの抗菌作用に注目して—」

- 小学生の部:該当者なし

- ・受賞者表彰式

12月2日個人を受賞者の表彰式を日本銅センター会議室にて開催、多くの受賞者とその御家族が出席した。

表彰状は日本銅センター副会長・(株)フジクラ取締役会長 伊藤雅彦 様から受賞者に授与された。

表彰式の後には各受賞者に研究発表をおこなっていただき、日本銅センターよりそれぞれの研究に対するコメントを送った。

なお、団体賞受賞の広島市立安佐中学校に対しては12月14日同校にて出張表彰式を開催した。



② 専門サイト「銅の超抗菌・抗ウイルス性能」開設

日本銅センターweb サイトにて「銅の超抗菌性能」についてPRをおこなってきたが、本サイト・特設サイト・CopperBookに分かれていたため、本年度行った web サイト全面改定を機にこれらを統一した専門サイトを作成、情報を集約した。



3. その他のプロジェクト事業

(1) 超抗菌銅プロジェクト

銅センター制定の認定制度 CU STAR (銅⁺) で超抗菌銅拡販活動を行った。

- ① STAR メンバーは 2023 年度末で 42 件の認証。
- ② 日本鉱業振興会研究助成事業において、銅の抗菌性に関する 2 件の研究テーマを継続受託、本年度は最終年度。
メカニズム解明と共に抗菌性能を阻害しない表面処理技術に繋がる研究で、硫化処理等に関する研究等を報告した。
- ③ 「超抗菌銅」PR 活動として、高機能金属展において CU STAR 認証製品の展示と銅センターHP内に開設している抗菌特設サイトで情報発信を行った。

(2) 日本鉱業振興会研究助成事業

本年度助成を受けた下記 4 件の試験研究について、目的の成果を得る為のフォローを行った。

- ① 銅めっき及び着色処理を施した銅材の殺菌性評価<最終>

北里環境科学センター 笹原武志

銅及び銅合金の高い抗菌性能は広く知られているが、表面酸化による変色により市場への普及が阻害されている。今回、変色が問題にならない表面処理、硫化処理や緑青の抗菌性能を評価することにより、抗菌性能を保てる表面処理方法を見出すことを目的とする。

- ② 物理解析手法を用いた銅及び銅合金の殺菌性発現のメカニズム解明<最終>

大阪公立大学 川上洋司

同志社大学 廣田健

上記に示した「変色が問題にならない表面処理」がどのようにして銅の抗菌メカニズムに影響を与えるか、物理解析手法を用いて解明する。

- ③ 海域における銅の環境リスクと効用の比較評価に基づく管理・対策のあり方に関する研究<継続>

産業技術総合研究所 内藤航

海域における銅の環境影響と効用の比較評価に基づき、両者が調和した合理性の高い現実的な管理指針を提案することを目的とする。

- ④ 高輝度青色半導体レーザを用いた純銅の高速コーティング技術の開発<継続>

大阪大学 佐藤雄二

銅はウイルス不活化作用を有するため、不特定多数の人が触れる手すりなどに利用されているが、バルク材から加工するためコストが高い。そこで銅の高効率なコーティング法を開発する。

(3) 日本伸銅協会との連携事業

- ① 伸銅協会の「新規技術開発検討会」では「リサイクル利用最大化のための溶解鑄造技術改善」というテーマに取り組んでおり、銅センターが有している技術情報及びデータを共有した。
- ② 日本銅学会を共催すると共に、委員として銅学会企画運営委員会の活動に参画した。

4. 銅管・板条技術関係特別事業

(1) 銅管及び継手開発事業

以下の3委員会活動を年度合計各6回隔月で開催した。

1) 銅管開発委員会活動(2社参加)

① 空調用熱交換器等に使用される銅管腐食対策

令和5年1月からスタートした日本銅学会の研究部会(熱交換器銅管品質管理手法に関する研究)に部会員として参加、内容を適宜委員会に報告し、情報共有を図った。又、6月に開催された材料と環境2023及び11月に開催された銅学会では銅管腐食に関する最新の研究内容について聴講し、動向を注視している。

2) 継手開発委員会活動(8社参加)

① 公共建築工事標準仕様書:令和4年版見直し

国交省営繕部による3年毎の見直しがスタートし、令和4年度に改正された(一社)日本冷凍空調工業会ガイドラインのGL-20(特定不活性ガスを使用した冷媒設備の冷媒ガスが漏れ出したときの燃焼を防止するための適切な措置)の内容を標準仕様書の改正案にどのように反映させるかについて、委員会の機械的管継手関係6社と共にWGを委員会と別途2回開催し、業界案を纏めて国交省に提出した。同省による改正一次案は令和6年4月に開示予定である。

② 銅管へのろう付け技術

(一社)日本溶接協会ろう部会主催のろう付技術講習会(12月)に参加し、継手及び素材の特性とろう付の関係、雰囲気連続炉の実例、アルミ素材への適用事例等について情報を収集した。

3) 冷媒用被覆銅管委員会活動(12社参加)

① 委員会外の海外製品肉厚問題

原管である銅管の肉厚に関して規定されたJIS H 3300:2018(銅及び銅合金の継目無管)に抵触する製品が市中に流通していないか、昨年度に引き続き市場抜取調査を実施し当該業者に対しては懸念事項として連絡した。また、冷媒用被覆銅管の品質基準を需要家に啓蒙すべく、HP上で公開している“冷媒用被覆銅管の

品質基準について”を7月の管工機材・設備総合展及び1-2月のHVAC & Rにおいてパネル展示を行った。

② 冷媒用被覆銅管施工マニュアルの増刷準備

委員会としては冷媒用被覆銅管の施工についても需要家に啓蒙を図っており、令和2年に“冷媒用被覆銅管施工マニュアル”を作成(初版)、令和4年に銅管の変色に関する項目を追加した改訂(第2版)を行った。今年度は令和6年度の増刷準備として細部の見直しを実施し、年度内に校了した。

(2) 板・条技術関係特別事業

1) 銅板屋根構法普及委員会

① 2021年に改定した「銅板屋根構法マニュアル」を増刷

設計者、建築板金組合、職業訓練校、銅板屋根施工業者、ゼネコン、設計事務所等に配布を行った。

② 日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS12」の改定に伴い、第12節銅屋根の編集を担当。2023年11月に改定された。

5. PR関係事業(広報)

(1) 情報発信事業

1) 機関紙「銅」誌

9月に第195号(16頁)、3月に第196号(12頁)を発刊、発行部数は各3,500部。正会員およびその会員会社、賛助会員をはじめ、全国の各種ユーザー及び教育機関(大学・図書館)、消費生活センター、官庁(水道事業体など)、需要者団体、マスコミ媒体などに配布した。

今年度は、銅製品やその製造現場、日本銅センター賞受賞者紹介、銅に関わる歴史的発見等、銅に関する情報を紹介した。

2) その他の出版物等の発刊

① 抗菌関係のパンフレット「銅のすぐれた超抗菌パワー」

銅の超抗菌・抗ウイルスをPRするパンフレットで、展示会を中心に配布を行った。令和5年度は2400部を配布。

② 子供向けパンフレット「銅(どう)ってすごい!」

主に科学技術館のMetal Factory(出展 日本鋳業協会)にて配布を行っている。令和5年度の送付実績は2000部。

その他、こどもデーで210部、子供向けイベントでの配布希望で890部、合計で3100部を配布した。

3) 日本銅センターweb サイト全面改定

2016年にリニューアルしたwebサイトの全面改定を行った。

- ・銅に関連する様々な最新情報を発信しやすくするための改善を行った。
- ・本サイトに外部サイト CopperBook の内容を組み込む。
- ・専門サイトを設定、「超抗菌・抗ウイルス」「空調用冷媒「銅」配管」「水道用銅管」を集約。今後、他の専門サイトを拡充可能な構造とした。
- ・前ページ SSL 化によるセキュリティ強化。



4) プレスリリース

日本伸銅協会と合同で Web による定例記者会見を毎月開催。

毎回、新聞社 10 社程度が出席。主に展示会やイベント等のトピックスを紹介。

5) 経済産業省こどもデー 実開催(8/2; 経済産業省)及びオンライン

日本銅センターは日本伸銅協会・日本鋳業協会と共同で出展を行った。

本年度のこどもデーは制限なしの実開催となり、多くの子供達がブースを訪れ、終了時間まで途切れることがなく、盛況であった。

① 実開催では、銅に関する下記実験の他、銅の加工品の展示を行った。

・「素材の違いを調べよう」

銅・黄銅・アルミニウム・鉄・ステンレスの違いを調べる

・「銅はどうやって作られるの？」

銅の原料・加工・リサイクルについて学ぶ

・「銅のスプーンで氷を切ってみよう」

銅の熱伝導性を体験



② オンライン

日本銅センターサイト内の子供向け web ページ「銅（どう）ってすごい！」を経済産業省こどもデーのサイトに登録した。

6) 高機能金属展出展

年2回開催される高機能金属展に出展した。

- ① 開催日 関西高機能金属展 5/17～19；インテックス大阪
高機能金属展 10/4～6；幕張メッセ

② 出展内容

・パネル展示

「銅の超抗菌・抗ウイルス性能」

抗菌性能試験結果と CU STAR 認証の紹介を行った。

「銅のリサイクル」

銅資源の循環と、当センターが独自調査を行った「銅のフロー図」を発表した。

・製品等の展示

CU STAR 認証製品、銅原料として銅鉱石・リサイクル原料等。

高機能金属展より上記に加え、「高機能銅素材及び加工品の紹介」として幅広い分野の銅製品を紹介するコーナーを設置した。

③ 出展参加企業

・CU STAR 認証製品

三菱マテリアル・村木商事・ハウステック・第一精工舎・佐野機工・渡辺合金鋳造所・山崎金属産業・日立ジョンソンコントロールズ空調・明清産業・共立化工・CFAジャパン・MTA合金・STL

・高機能銅素材、大学、一般の抗菌関係の製品

大阪大学接合科学研究所・奈良県立医科大学/やまと真空工業・カウゼル群馬大学/グッドアイ・新光機器・アイジェクト・三芳合金工業

④ 協賛団体セミナー

・ 関西高機能金属展

「三井金属の銅箔関連技術と共創に向けた取り組み」

三井金属鉱業株式会社/飯田浩人 様

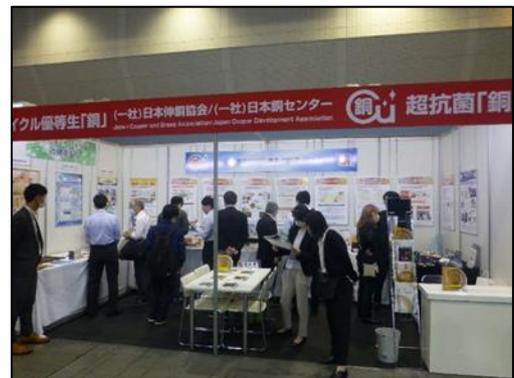
「鉛規制の動向と三菱マテリアルの鉛フリー快削黄銅への挑戦」

三菱マテリアル株式会社/須崎孝一 様

・ 高機能金属展

「持続可能な社会実現へ向けた銅材料の貢献と銅リサイクルの実態」

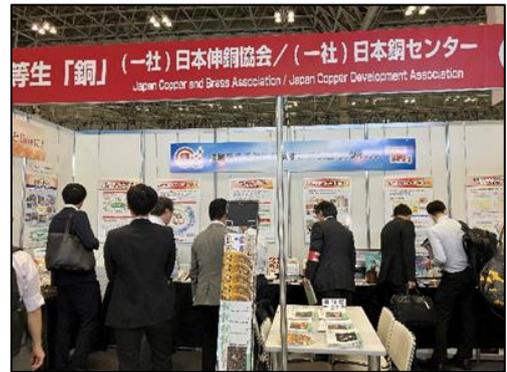
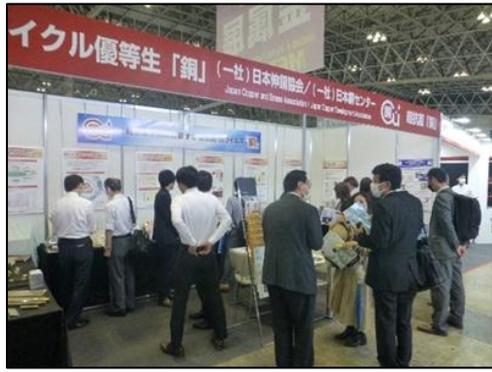
一般社団法人日本銅センター/中山事務局長



関西高機能金属展 ブースの様子



関西高機能金属展 協賛団体セミナー



高機能金属展 ブースの様子



高機能金属展 協賛団体セミナー

7) 広島市立広島工業高等学校出張授業(9/27 実施)

日本銅センターは、エネルギー・金属鉱物資源機構と日本伸銅協会と共同で、広島工業高等学校機械科1・2年生を対象とした出張授業を行った。

講義名は「プロフェッショナル活用人材プロジェクト」で、社会で活躍する専門家の知識や経験を知ること、将来の進路選択に役立てる等の目的で行った。

講義は銅に関する3部編成で行い、生徒・学校関係者に銅の魅力を伝えることができた。以下は題目。

「銅及び銅合金の特性と用途について」

一般社団法人日本銅センター/小澤広報部長

「銅を中心とした金属鉱物資源の生産について」

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構/大岡隆 様

「日本の銅産業について」

一般社団法人日本伸銅協会、日本銅センター/桑山専務理事



8) 日本銅センターへの各種問い合わせへの対応

令和5年度はメールでの問い合わせが100件(法人80件、個人20件)、銅に関する一般的な質問について、例年通り各担当者が責任を持って対応した。

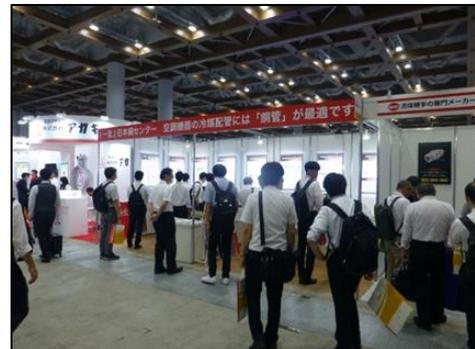
(2) 銅管特別広報事業

広報活動としては、展示会出展に注力した。

1) 第55回管工機材・設備総合展出展

7月に開催された東京都管工機材商業協同組合主催の展示会に出展した。

銅管3委員会に関するテーマで、給水給湯用と冷媒配管用の銅管の優位性・品質のPR、冷媒用被覆銅管の施工マニュアルの配布、機械的管継手のJCDA規格認証製品の紹介等を行った。さらに日本銅センター独自調査の銅のマテリアルフロー図を用いて銅のリサイクルの優位性についてPRを行った。

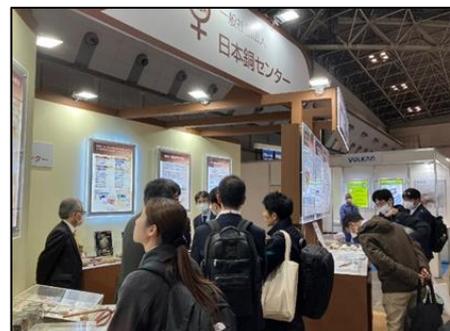


2) HVAC&R JAPAN 2024 出展

1-2月に開催された日本冷凍空調工業会主催の展示会に出展した。

2年に1度の国内最大規模の空調冷熱業界の展示会で、主に冷媒用「銅」配管に関する展示を行った。

上記、管工機材・設備総合展と同様、銅管3委員会に関するテーマと銅のリサイクルの優位性をPRした。空調設備メーカーからリサイクルの現状など、有益な情報を収集することができた



3) その他の事業展開及び広報事業

① はんだ付、ろう付に関する講習会支援(9/27～28 実施)

NPO給排水設備研究会で実施して来た配管技能講習会が4年ぶりに開催され、銅管ろう付け(はんだ付け)講習の支援を行った。

6. 規格認証業務

(1) 管継手

給水・給湯配管用及び冷媒配管用の管継手の工場認定・製品認証について、令和6年度に新規申請若しくは定期維持審査予定の各社に対して事前の準備状況の確認及びフォローアップを実施した。

(2) 銅管

JIS H 3330:2003(外面被覆銅管)の見直し改正に取り組んだ。原案作成委員会は4月以降、分科会も含め4回開催し、(一財)日本規格協会へ改正原案を提出後、所轄の経産省国際標準課の確認後に日本産業標準調査会の金属・無機材料専門委員会の審議を経て経済産業大臣への答申に至った。同JISは令和6年4月に公示の予定である。また、JWWA H 101:2004(水道用銅管)の見直し改正についても(公社)日本水道協会及び関係各社と協議し、令和6年度中に改正原案を作成する事に合意したので、準備に着手した。

7. 日本銅センター賞表彰事業

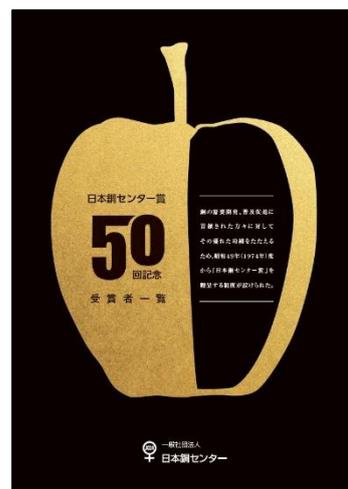
令和5年6月7日、ホテル椿山荘東京において、第50回日本銅センター賞の表彰式が行われた。受賞者は次の通り。

第50回を記念して過去の受賞者を記載した記念誌の配布を行った。

受賞者	案件名
株式会社伸好舎	マイクロ減速機及び多岐に渡る各種歯車製品の拡販により銅需要の拡大と生活インフラへの貢献
株式会社生方製作所	エアコンやEV/PHEV用のモータープロテクター向けとして銅芯材を使用した複合線を使用。銅需要及び用途開発に貢献。
広島市立広島工業高等学校	2005年より「銅板折り鶴」の作成を授業に取り入れ、技術者の育成と銅のイメージアップに貢献。



表彰式記念写真



記念誌

＜参考資料1＞ 作成資料一覧

令和5年度製作の広報関連出版物及びビデオ、web ページ等

タイトル	内 容	発行年月
銅のすぐれた超抗菌パワー	抗菌パンフレット、令和5年版。 (体裁：A4 変形判オールカラー 20 頁)	2023 年 7 月
銅(どう)ってすごい!	子供向けパンフレット。 (体裁：A4 変形判オールカラー 16 頁)	2023 年 7 月
「銅」誌第 195 号	銅センター機関誌 (体裁：A4 判オールカラー 16 頁)	2023 年 9 月
銅(どう)ってすごい!	子供向けパンフレット。 (体裁：A4 変形判オールカラー 16 頁)	2024 年 2 月
日本銅センター web サイト	全面改定、常時 SSL 化。 一般向けその他、専門サイトを設定	2024 年 3 月
専門サイト 銅の超抗菌・抗ウイルス性能	全面改定。従来の「超抗菌特設サイト」と「Copper Book」の情報を統合	2024 年 3 月
日本銅センター	日本銅センター案内のパンフレットを改定	2024 年 3 月
「銅」誌第 196 号	銅センター機関誌 (体裁：A4 判オールカラー 12 頁)	2024 年 3 月